



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



工事中の病院で栄養科集合写真（筆者右から4人目）

最後に栄養科は閉ざす。これからも栄養科をよろしくお願い致します。

そんな時に院長・事務長・上司の科長が言った「力を貸してくれ」「一緒に考えてコープリハビリテーション病院を作って行こう」という言葉が心の支えになり、やる気が湧いてきました。業者との話し

合いをしながら職場会議でどのような厨房にするかなど話し合い、新病院になったときを想像しながらの配膳のデモを行い、みんなで頑張ってきました。

2年が過ぎました。新築移転はいつになるかなと思いつながら、あつと言う間にその時は来たという感じ。玉島協同病院にいた時も新築移転で心がウキウキな状態だったのに、予想にもしていない一ヶ月前の異動でした。最初のうちはコープリハビリテーション病院では仕事も手につかず、毎日がボーンツとしていた日々でした。



搬入されたこだわりのガスレンジ

新病院の感想

置かれた場所で咲けそうです



山下 泰延
コープリハビリテーション病院に異動し



患者さんに見てもらえる厨房

これから新病院でまた新たな気持ちで頑張ります。患者さんに以前より美しい病院食を作つて、喜んでもらうために努力をして行きたいです。旧病院の食事より美味しいと思つてもらえる食事を出します。まだ、十分に厨房内を操ることが出来ないのが現状ですが、これからみんなで努力しながら頑張っていきます。

ていたのは、4人病室の廊下側の方も外の景色を見ていただけるとのことです。今までは窓側の患者さんがカーテンを引いてしまうと廊下側の患者さんは薄暗くなり、天気が良い日なのか曇りの日なのか、昼なのか夕方なのかかわからなかったと思います。一日の生活リズムを整えよう、と声をかけても肩をたたいても薄暗い中での援助ですから目覚めが悪く苦労しました。一



田上 理枝
私が新病院に一番楽しみにし

新病院の感想

光と風が通る病室で脳も活性化

日中うとうととしておられました。また、夜、自然に眠くなるようにメラトニンに効くロゼレムという薬が出ています。これは朝の光を浴びなければ効果がありません。廊下側の方は朝の光を浴びられるよう車いすに乗っていたり、ただ今ではロールカーテンを開けるだけで太陽の光をさんさんと浴びることができています。



屋上から水島コンビナートを望む



光と風の通り道がある4人部屋

窓から見える景色も見応えがあります。今までは窓際の方でも1階の病室のベッド上からでは空しか見えませんでした。車いすに乗った方は自転車の置き場越しに向かいの保育園で園児が遊ぶ様子が何と見ええています。新病院は4階ということもあり、眺めがよいせいか窓際に立って外を眺めておられる患者さん

をよく見るようになりました。また、病室に寝ておられる患者さんは窓を背中側に体位変換すると首をうんと伸ばして窓を見ようとするので、再度、窓の方の向きを治すことでもあります。窓の外の良い眺めが、闘病生活のストレスを和らげてくれるといいですね。テレビが付いたのもうれしいことの一つです。寝たきりの患者様がテレビをつけたことで、一生懸命テレビを見ようと首を動かされる姿は、旧病院のラジオを付けていた時には見られなかった変化です。首のリハビリになりますね。良い環境は人を成長させるということを実感しました。療養環境がよくなりましたから、次は療養をお手伝いする私たちスタッフが、さらに力をつけなければと思います。

コープリハビリテーション病院
4階病棟 認知症認定看護師
田上 理枝

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

シリーズ「専門職の誇り」

使命感になった リハビリ看護



山田小百合 看護師として倉敷医療生協に

私は看護職し29年目になります。最初は水島協同病院、その後、旧健寿協同病院に移動となり、現在の回復期リハビリテーション病棟での師長歴は7年です。現在勤務している病棟は、急性期病院での治療が終わった後、リハビリを行い機能改善、そして

「看護の魅力を感じた」 高校生1日体験

3月9日に高校生1日体験が行われ、7名が参加されました。将来看護の道に進みたいという夢を持った学生さんばかりで、真剣な面持ちで参加している様子が印象的でした。

まず最初に血圧測定と注射器での吸い上げの体験を行いました。その後は、理学療法士によるリハビリ体験を行い、車椅子に乗って健常者として自分で操作した後、片麻痺患者として車椅子を操作することの難しさを実感してもらいました。患者さんが日頃行っている認知機能テストは、学生さん達でも苦戦していま



指導ナースを模擬患者に血圧測定



移転後初の総合回診を仕切る山田師長（左から2人目）

在宅に向けての環境調整等を行う病棟です。入院期間については、病名により決まっているため、その限られた期間で、本人・家族の要

た。最後に各病棟に分かれて、患者さんとコミュニケーションを取ったり、食事の手伝いを体験したりとあっという間の半日でした。「進路の参考になりました」「看護の魅力を感じました」「志望大学へ進学して看護師として将来働きたい。」など進路の参考になったのではないかと思っています。今後も、将来の事を



注射器の吸い上げ体験



高校生の皆さんと記念撮影（前列左から筆者の石原、高島）

求に少しでも近づけるように調整を行います。それには他職種との連携・情報共有が重要と日々感じています。病棟では看護・介護で専門職の違いはありますが、それぞれが専門性を活かして自分達で考え、日々患者さんに関わっています。患者さんが住み慣れた我が家での生活ができるようになるためです。今回コープリハビリテーション病院の新築移転にあたり設計から関わらせていただき、とても感謝しています。

コープリハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟 師長 山田小百合



七條 豊

痰で苦しむ患者さんの 気持ち分かる吸引学習

岡山医療技術専門学校理学療法士・作業療法士の学生に吸引学習の講師として参加しました。当日参加の学生は60名、講師は他の病棟の看護師4名と理学療法士2名の6名でした。



講師として指導する筆者

今回の講義は、患者さんの立場に立ち、看護師とリハビリ職員の協力で吸引にどのような関わりかを伝えることが出来た学習会となりました。コープリハビリテーション病院 理学療法士 七條 豊

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 事務課 永久奈々恵



コープリハビリテーション病院 薬剤科 事務 川上 早苗



老健あかね 通所リハビリ 准看護師 栗山三代子



老健あかね 通所リハビリ 介護福祉士 家森 勇輝

診療表

コープリハビリテーション病院 [086-444-3212]			老健あかね [086-446-6541]		
	内科	歯科	短時間 通所 リハビリ	訪問リ ハビリ	通所 リハビリ
診療時間	午前 9:00~ 12:30	午後	9:00~ 16:50		9:00~ 16:00
月			○	○	○
火	○	○	○	○	○
水	○		○	○	○
木	○	○	○	○	○
金	○		○	○	○
土					○



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 8:30 ~ 17:00
(土日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千島町 1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。